

海外事業の拡大に、柔軟な人材調達力や、幅広いスキルの発掘に期待。

この課題を解決!!

- 人材確保
- 営業力強化
- 販路拡大
- ✓ コスト削減
- ✓ 商品・サービスの高付加価値化

株式会社セオリー

会社概要

〒810-0021 福岡県福岡市中央区今泉 1-10-12 IONビル 4F

業 種 専門サービス業
資 本 金 300 万円
従 業 員 数 3 名
事 業 内 容 海外進出企業に関する支援・コンサルティング



代表取締役 大園 郁氏

当社はもともと、株式会社アンソネットという主にコールセンター支援などを行う会社を経営していて、私はそちらの代表も務めています。セオリーは2年前、海外創業支援の助成金をきっかけに設立した会社です。私は若いころに、海外青年協力隊で活動していたこともあり、その経験をもとに、海外でボランティアを行いたいという思いがありました。しかし現地の支援を続けるためには、経営に関わるのが一番いいと思いました。今はフィリピンを中心に、英語圏のASEAN（アセアン）で、日本から進出する企業の販促スキーム作りや、現地での足場づくりなど、海外に進出する日本企業のかたと話を進めている最中です。

多様な案から、海外展開の足掛かりとなるロゴを選びたい

世界展開をみすえて活動するなかで、そのイメージが伝わるようなロゴマークを作ろうと

思ったんですが、人的リソースもなく、コストも抑えたかったため、以前から存在を知っていたクラウドソーシングサービスを利用することにしました。当社がある福岡は東京などの首都圏と違い、企業同士の横のつながりも密なので、特定の制作会社に頼むと仮にイメージと違っていても断りにくいんですね。候補をたくさん見たうえで、当社の希望に合うロゴを決めたいと思っていましたので。コスト感とセンスの良さのバランスが取れていた点でもクラウドソーシングサービスを使って良かったですね。

ロゴが、コンペ形式でみるみるブラッシュアップ

ロゴの制作をコンペ形式で募集したところ、13もの提案が集まりました。コンペ形式の特長でもあると思いますが、他の方の案が見えることもあり、2週間の募集期間が進むにつれて、案がブラッシュアップされていくのを体感しました。また、当初の予算から、追加で要望を出して発注金額も上乘せをしたところ、ワーカーさんにも喜んでいただけました。2015年11月にやっと出来上がったばかりです。この発注が初めてでしたが、期待以上の仕上がりにたいへん満足しています。

翻訳や通訳などが事業拡大のカギに

今後、海外で事業を進めていくにあたり、翻訳や通訳は必ず必要です。特に、2020年の東京オリンピックに向けてとても重要になっ

てきます。いろいろな言語や、時差による作業時間帯の負荷分散など、クラウドソーシングで柔軟な人材の調達ができるメリットは大きいですね。各国ASEANを全部繋ぐとなりますと、言葉も全て違います。母体の会社でコールセンターの仕組みはありますので、通訳も同時に行うインターネットを通じた分散型のコールセンターを開発しようと考えています。

そこにどうしても必要な通訳の人材は、稼働に応じて人件費を流動化でき、時間も分散して、と上手く仕組みを構築できなければいけない。これはクラウドソーシングの力を積極的に活用していきたいところだと考えています。

世界規模での人材調達に期待

発注だけでなく、受注側としても利用を検討しています。今までは少数精鋭で自社開発を行っていましたが、自社にない特殊な技術を持った方を、日本国内だけでなく、クラウドソーシングサービスで世界中で探すことができるのはいいですね。当社の既存サービスのパッケージに加えて、さらなる付加価値を与えることができると思います。そこには、必ず面白いものが見つかりそうな期待もあります。柔軟な人材調達で事業の幅を広げていけることから、今後の事業計画も、クラウドソーシングサービスを利用する前提で策定しています。



今回クラウドソーシングで作成したロゴマーク